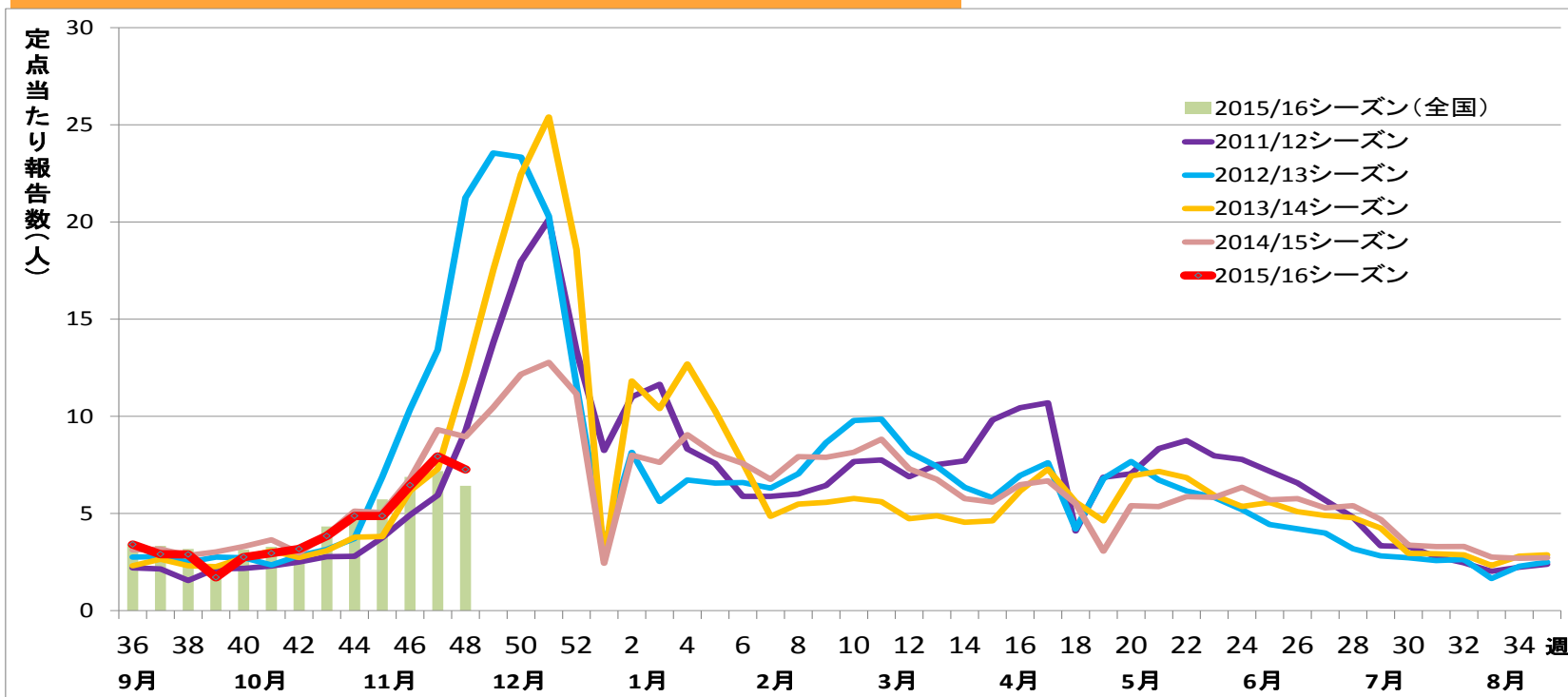




冬の感染性胃腸炎 原因の多くはノロウイルス！

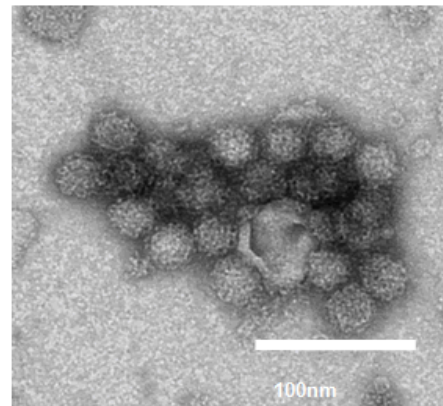
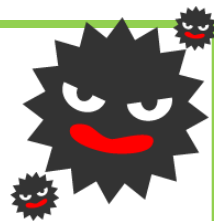
感染性胃腸炎の定点当たり報告数(神奈川県)



感染性胃腸炎とは

・細菌、ウイルスなどによる突発的な吐き気やおう吐、水様性の下痢などの胃腸炎症状を起こす感染性胃腸炎は、毎年冬期を中心に流行します。その代表的な原因ウイルスが、「ノロウイルス」です。

・ノロウイルスは感染力が非常に強く、症状がなくなっても1週間から1か月間、便中にウイルスが排泄されます。



ノロウイルス電子顕微鏡像

予防対策 (特効薬はありません)

①毎日の手洗い

外出先から帰宅後・トイレ後・調理前・食事前にはよく手を洗いましょう。

②消毒

ノロウイルスは、感染者のふん便やおう吐物に大量に含まれています。「アルコールではなく、**次亜塩素酸ナトリウム**(塩素系漂白剤など)」を用いた消毒で、適切に処理しましょう。

③加熱殺菌

食品は十分な加熱(85℃～90℃で90秒以上)をして食べましょう。



手洗い方法のポイント(石けんを泡立て、ていねいにもみ洗いをし、よくすすぎましょう)



手の甲

指先

指の間

親指

手首